

# ごらくちょう

Bird of Paradise



発行 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 令和6年11月7日

## 就任のご挨拶

望月 寿信 (在パプアニューギニア大使)



日本パプアニューギニア協会会員の皆様

パプアニューギニア駐節の新日本大使として、11月下旬に赴任することになりました望月と申します。現在西アフリカのガーナにおいて、ODA や日本企業支援の諸案件に取り組むとともに、イベントや週末ゴルフ等を通じ、JICA、ジェトロや各社の方々と仲良くさせて頂いています。

新任地でも、現地にて活躍されている在留邦人の皆様、進出日本企業の事業を支援すべく力を尽くす所存でございます。これまでの外務省人生で経済協力、国際機関との調整や官民連携に従事して参りました。少しでもお役に立てれば幸いです。

本年7月に第10回太平洋・島サミットが開催され、マラペ首相やトカチェンコ外相を含め30名を越える代表団が訪日したと承知します。来年は、両国外交関係樹立50周年を迎えます。日本の経済協力も50年に亘ります。二国間関係の更なる飛躍に向け、この記念すべき年を契機して人の交流や経済関係を一層発展させていきたいと思っております。

貴協会におかれては、様々な形でパプアニューギニアの人々を支援されていらっしゃると思います。その素晴らしい取り組みを賞賛するとともに、今後ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 望月 在パプアニューギニア大使様 ご経歴

氏名	望月 寿信
生年月日	昭和36年6月11日生
最終学歴	慶應義塾大学法学部政治学科卒業 (昭和60年3月)
採用試験	昭和58年外務省専門職員採用試験
出身地	静岡県
昭和59.4	外務省入省
平成27.10	中東アフリカ局アフリカ部 アフリカ第二課 上席専門官
12	中東アフリカ局アフリカ部 アフリカ第二課地域調整官
30.4	大臣官房人事課人事企画官
令和元.9	大臣官房調査官兼大臣官房人事課
3.10	大臣官房
〃	特命全権大使 ガーナ国駐節
11	兼リベリア国駐節
〃	兼シエラレオネ国駐節
6.10	特命全権大使 パプアニューギニア国駐節

# 2024 年度日本・パプアニューギニア協会奨学生選定

伊藤 明徳 (ポートモレスビー支部長)

昨年、2023 年 12 月に協会が奨学金を支援した 3 名の大学の奨学生が 4 年間の学業を終え卒業しました。そして、10 月に今年から 4 年間の学費の一部を支援する 2024 年度日本・パプアニューギニア協会奨学生の募集と選定を行いました。本奨学金事業は、「経済的な理由で大学での修学が困難な PNG 人の若者に対し、協会の理事会及び総会の承認を条件に奨学金を支給する。」を目的として実施されています。

本事業は、西山肇担当理事と島田事務局長と打合せをしながら実施計画を作成し、6 月の協会の総会で報告されました。承認を頂きました後、9 月 12 日に過去から日本と友好関係を築いてきたソゲリ国立高校、ポートモレスビー国立高校、ジュビリーカトリック高校の卒業生で大学に進学している学生を対象に学校を通じて募集要項の案内を出しました。選考委員会には、西山理事から日本大使館と JICA に協力を要請頂き、村上敦書記官、松岡英明 JICAPNG 事務所長と私が選考委員となりました。今回は優秀な PNG 大学と工科大学の 3 名の学生が応募しました。書類選考に合格した 3 名に 10 月 12 日に面接を行いました。

面接開始前に、委員で選考基準を確認しました。申請理由、学業への姿勢、人物像に加えて、村上書記官からは、「日本との関係についてどう関わりたいか」、松岡所長からは、「PNG にどの貢献をしていきたいか」、との提案を頂き、面談を行いました。工科大学の 2 名の学生はオンライン、PNG 大学の学生は対面で面談を行いました。

面談の結果、3 名共に、家族が学費を納められる状況にないこと、政府から奨学金を貰っているが、四分の一程度であり、更なる支援が必要であることが確認できました。将来については、3 名共に明確なビジョンを持ち PNG のために貢献したいと強い情熱を持っていることが理解できました。Emmanuel Katu 氏はメカニカルエンジニアとして地元のマイニングサイトで機械のメンテナンス

をしたい。Joycelyn Charlehand 氏は、土地の測量技師として PNG が進める道路網の開発に貢献したい。Orina Kinembo 氏は医者になり地元のために貢献したいと具体的な夢を語ってくれました。日本との関係についても 3 名は、日本のことを学び、機会があれば交流をしたいと回答しました。面談終了後、委員は、三名共に、奨学金を受領するに値する人物であり、選考に参加した 3 名に奨学金を授与しても良いと判断しました。この選考結果を協会へ報告し、その結果、協会より承認を頂きました。

今後の予定は、11 月 15 日に、日本大使館のご協力により奨学生が渡邊日本大使を表敬訪問し、奨学事業について懇談し、奨学金供与が行われます。奨学生となった 3 名からはごらくちょうへ学業の進捗を定期的に報告してもらいます。楽しみにして下さい。



Emmanuel Katu 氏 (PNG UOT)



Joycelyn Charlehand 氏 (PNG UOT)



Orina Kinembo 氏 (UPNG 右側: 本を持つ学生)



選考会の様子

渡邊 信之（駐 PNG 日本大使）

この度3年に及ぶ勤務を終え、11月18日に離任することとなりました。

この間、日本パプアニューギニア協会の皆様に御支援賜りましたこと感謝申し上げます。最近のできごととして1および2、そして最後3にて皆様への離任の御挨拶を申し上げます。

### 1) PNG 軍楽隊によるフランシスコ教皇訪問時の演奏

9月6日から9月9日まで、フランシスコ教皇がパプアニューギニアを訪問されました。この時期は過去10年にわたり実施中の陸上自衛隊中央音楽隊によるPNG軍楽隊の演奏指導期間であったため、教皇訪問時の様々な演奏機会に向けて軍楽隊はしっかりと準備を進めました。教皇が到着された9月6日の夜、首都ポートモレスビーのジャクソンズ国際空港において歓迎セレモニーが行われ、PNG軍楽隊は教皇の前で見事な演奏を披露しました。



### 2) ODA50周年記念式典の開催

10月17日、首都ポートモレスビーにてPNGに対するODAの50周年を祝うための式典が開催されました。PNGへのODAは独立前年の1974年に国立水産訓練校を支援するプロジェクトから始まり、今年で50年目を迎えました。マラペ首相をはじめ政府関係者等が200名以上出席する中で式典は盛大に開催され、現地メディアが大々的に取り上げました。マラペ首相はスピーチの中で日本に対する感謝を表明し、日本は「真の友」(Genuine friend)と言及されました。本年はこれまで築き上げてきた両国の友好関係を再確認する節目の年であり、次の50年に向けて両国関係を更に発展させる良い機会となりました。



### 3) 日本パプアニューギニア協会の皆様への御挨拶

当地在勤中の3年間には、様々な出来事がありました。一昨年、5年に一度の国会議員選挙が半年もの長い間行われる様子を経験し、また、PNGが国際社会の中で重要性を増している様子を感じる事が出来ました。経済面でも、基幹産業である鉱物資源分野の順調な操業に支えられ、課題は多いものの製造業、地方開発、中小企業振興等への取り組みも進みつつあります。



この間日本とPNGとの関係も順調に進展してきました。昨年は外務大臣政務官、外務副大臣、総理補佐官等が来訪し、また青年海外協力隊の派遣が再開し始めました。10月には、ナザブトモダチ空港の開幕式が行われ、今ではPNGにおける最大の空港のハブとして、また、両国関係の友好の象徴として活用されています。

本年2月には日本からビジネスミッションが訪問し、3月には、PNG議会訪問団、国防大臣が相次いで訪日し交流を深めました。7月には、日本で第10回太平洋・島サミット(PALM10)が開催され、PNGからはマラペ首相始め30名を越える代表団が訪日し、首脳会合に出席するとともに、前岸田総理との間にかみ合った二国間会談を行うことが出来ました。

PNG在勤中には17の州を訪問することが出来ました。各地方により全く異なる文化、風俗、習慣等の多様性に溢れ、何れの地でもそれぞれに豊かな自然と人々の活力に感銘を覚えました。各地方を訪問する際には、それぞれの政府、教育、コミュニティー関係者に一方ならずお世話になり、感謝申し上げます。

PNG滞在中は、非常に多くの方々の協力を得ることが出来ました。常に笑みを絶やさず、若く活力溢れる多くのPNGの方々、多くの困難を抱えながらもPNGの困難解決や発展協力のために協力する国際社会の方々、日本とPNGの協力発展のために活躍するの方々、それら多くの方々と一緒に仕事出来たことに改めて感謝申し上げます。

最後に、PNGがより良い国に発展していくこと、PNGと日本との交流が一層発展していくこと、更には、皆様のご多幸とご発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

コロナ禍を挟んで、数年ぶりに急遽独立記念日ミニレセプションを開催する運びとなり、2024年9月12日独立記念日より少し早く大使館の地下にてミニレセプションが開催されました。とはいえ、100人も入れば身動きできないほどのスペースでしたが、大使以下、外交官も皆様と和気藹々と歓談されました。

今回、日本パプアニューギニア議連から、田中和徳衆議院議員、山際大二郎衆議院議員、石原宏高衆議院議員など、国会議員の方も快く参加され、招待客の皆様とも気さくに交流されていらっしゃいました。

今回、手作りのミニレセプションでしたので、Minister Moihe, First Secretary Wasuak のファミリーが前日に、大使館のエントランスから地下までパプアニューギニアの国旗などのデコレーションを協力して飾り付けてアットホームな形のミニレセプションとなりました。

皆様楽しんで頂けたかと思えます。

来年はパプアニューギニア独立50周年ですので、なるべく多くの方をご招待して皆様楽しんで頂けるようなレセプションにしたいと大使をはじめ、外交官、大使館職員一同願っております。



## 事務局からのお知らせ

暑い日々が、富士山の初冠雪を遅らせ、紅葉の時節もどうなることやらと気をもんでいます間に、今年最後のごらくちょうの発刊となりました。そして今月は PNG 大使が渡邊現大使から望月新大使へと変わられる節目の月となりました。そのため本号では、渡邊大使の今までのご功績の振り返りと、新大使の抱負およびプロフィールのご紹介を掲載させていただきました。また

当協会が力を入れております PNG の学生への奨学金の選考につきましても伊藤明德当協会ポートモレスビー支部長にレポートいただきました。ぜひじっくりご拝読いただければ幸いです。

世界はますます激動し、予測不可能な時代となってきています。そんな中でも日本とパプアニューギニアの友好関係がこれからも変わらず続きますよう、その一助となるべく協会も継続して当ボランティア活動を行って参りたいと思います。何卒皆様の

お力添えを賜れば幸甚でございます。

なお、11月21日（木）には、久しぶりに開催の TOKTOK 会がございます。「エンガ州の地滑り災害と復興 みえてきた課題やパプアニューギニア人の部族を想う伝統について」というテーマで、協会を通じ皆様からお預かりしました義援金をお届けした特定非営利活動法人 HANDS 様よりお話しいただきます。是非多くの方にご参集いただければ有り難いです。よろしく願いいたします。

## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：25 社 ◆ 個人会員：94 名 (2024 年 11 月 7 日現在)

**お問い合わせ先** 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内  
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

**申し込み方法** 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

**年会費** 個人会員 6,000 円 家族会員 3,000 円 法人会員 60,000 円 学生、PNG 人 1,000 円

**会費受付** 郵便振替口座をご利用ください。

**口座番号** 00140-2-277582

**加入者名** トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ